



## 「第11回全国こども陶芸展inかさま」

今年で11回目を迎えた「全国こども陶芸展」は、震災の影響で出品数の減少が心配されましたが、全国から昨年とほぼ同数の1,248点の作品応募がありました。

今回は、日本の伝統文化を感じさせる本格的な器の作品や、動物などの造形作品、最近の出来事をテーマにしたものや風土や文化を表現したものなど、幅の広い作品が見られました。

また、作品の中に「震災に目を向けたテーマ」を子どもならではの目線と感受性で捉え、「復興に向けての力強さ」や「心をひとつにして頑張ろう」という思いを表現したもの等が印象的でした。しっかりと今を見つめた素晴らしい作品ばかりで、審査員の皆さんを驚かせていました。



A部門文部科学大臣賞「すずしいビル」

## 第5回笠間市子ども会育成連合会球技大会開催

子ども会員の体力強化を図り、協調性と忍耐力を養うことを目的に子ども会球技大会を実施しています。各支部大会を勝ち抜いた子ども会が、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。

☆ソフトボールの部 (7月24日北川根ふれあい広場)

Aブロック

優勝 大原連合子ども会(大原小支部)

準優勝 大空子ども会(北川根小支部)

Bブロック

優勝 柿橋子ども会(友部小支部)

準優勝 五葉子ども会(穴戸小支部)

☆ドッジボールの部 (8月7日笠間小体育館)

優勝 桂町子ども会(笠間小支部)

準優勝 つばさ子ども会(笠間小支部)

第3位 栄子ども会(笠間小支部)

第3位 石中子ども会(笠間小支部)



ソフトボールの部



ドッジボールの部

## 市長コラム

### 夏の愛宕山を歩く



8月の上旬に何年かぶりに愛宕山を2時間ほど歩いてみました。当日は雨が降っており、他にハイキングの方はほとんどいませんでした。

岩間町時代にふるさとの山整備事業により桜の広場やスカイロッジをはじめとする施設整備がなされたと聞いており、整備当時の写真がある看板などを見て歩きました。整備当時から、約15年以上経過し、ハイキングコースの施設は老朽化がすすみ、遊歩道等の木々も枝が長々と伸び、光がささぎられ暗く、景観をそこねている状況があらちらに見えました。

現在は、地元の愛宕山を愛する方々の協力により、維持・管理がされていますが、震災や老朽化によりハード面での再整備が必要になっていると思われました。本市にとって愛宕山は、観光

の名所であり、あたご山桜まつり、悪態祭りをはじめ、広く市民の憩いの場として親しまれています。これからも多くの方々に楽しんでいただける名山として、平成16年から指定管理者制度を導入し、スカイロッジの利用向上などを図っておりますが、今後さらに魅力度を高めていかなければなりません。

笠間市には他に佐白山、北山公園などが市民の憩いの場となっています。それぞれの特徴や自然を生かし、多くの方々に利用されるよう整備してまいりますので、皆さんも1度は足を運んでみてはいかがでしょうか。工事のため通行止めになっている区間もありますが、体を動かす、自然の空気を満喫するのも気持ちが良いものです。

今回、私が歩いた愛宕山のコースは、天狗が修行した地と言われる石尊(せきそん)や、笠間市内で唯一富士山が見えるという(現在は樹木が茂っているため望みませんが)南山展望台を歩きました。また、岩間駅へ愛宕山へ吾国山までのハードなハイキングコースもあります。ぜひ挑戦を！

笠間市長

山口伸樹